

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

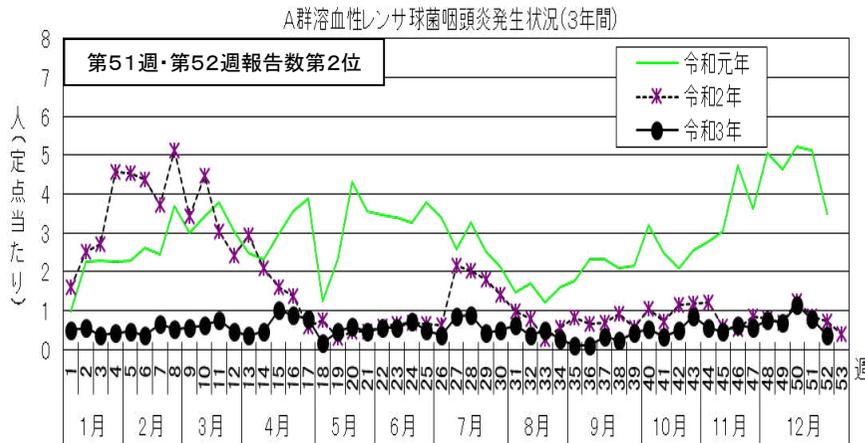
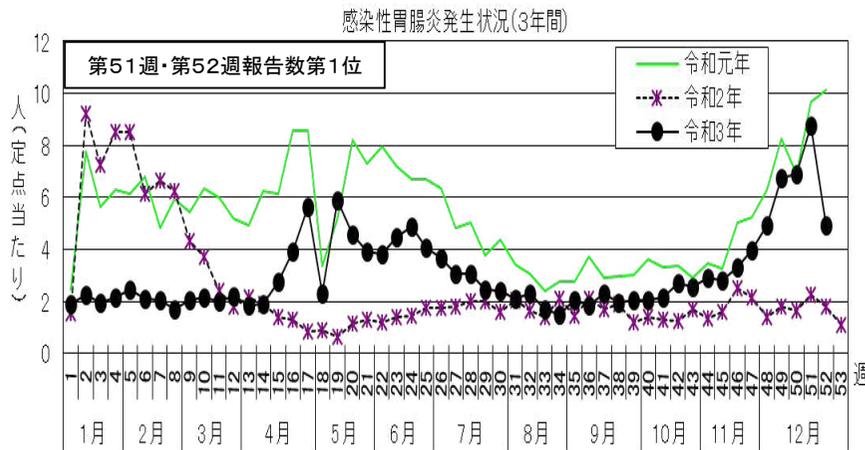
令和3年12月20日（月）～26日（日）〔令和3年第51週〕及び令和3年12月27日（月）～令和4年1月2日（日）〔令和3年第52週〕感染症発生状況

第51週及び第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)手足口病でした。

第51週の感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.78人と前週（6.92人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

第51週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（1.14人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

第52週は年末年始で多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。



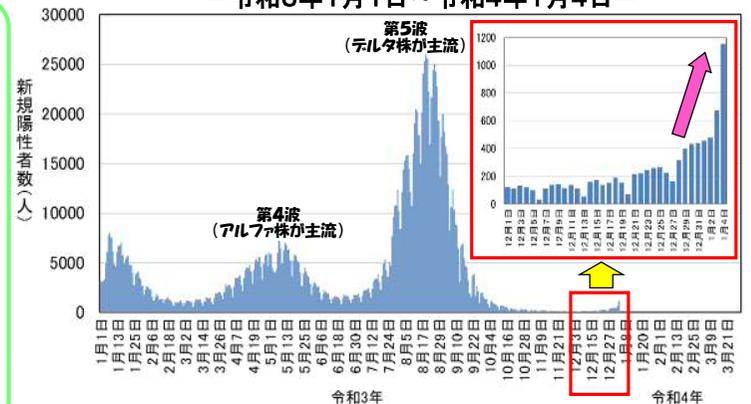
## 全国の新型コロナウイルス感染症の報告数が急増しています！

国内における新型コロナウイルス感染症の報告数は、第5波以降減少していましたが、年末から大都市を中心に再び増加に転じています。

現在、欧米を中心に海外で流行しているオミクロン株は、国内でも急速に検出数が増えており、神奈川県内でも報告が相次いでいます。オミクロン株はデルタ株と比べて感染力が非常に高いといわれており、全国各地でオミクロン株による市中感染やクラスターの報告もみられています。しかし、海外のいくつかのデータによると、軽症例が多く重症化しにくいともいわれています。

体調が悪い場合は、軽い症状であっても必ずマスクを着用し、人との接触は控えましょう。

全国における新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の推移  
—令和3年1月1日～令和4年1月4日—



### オミクロン株の特徴 —デルタ株との比較—

- **感染性**  
非常に高い
- **重症度**  
重症化しにくい可能性あり
- **潜伏期間**  
やや短い
- **ワクチンの効果**  
ワクチン2回接種による  
発症予防効果は低い  
※追加接種により発症予防効果が高まる可能性あり
- **予防対策**  
正しいマスクの着用、手洗いなど



厚生労働省「データからわかる—新型コロナウイルス感染症情報—」より